

ライカ
Leica 2023年3月トピックス

本物志向のあなたに贈る

～アイピース付デジタルマイクロスコープ～ (接眼レンズ)



モニター画面に映っているものが真実ですか？

量販店でテレビの選定中、競技場の芝生が目に入った。
どのテレビを選びますか？



①



②



③



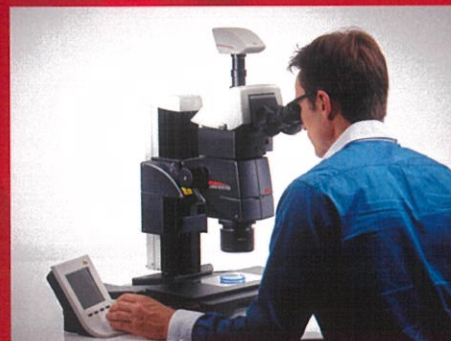
モニタに描写されている像は
何をもって真実と判断できるでしょうか。

**綺麗な写真を
選んでいませんか？**

最終的には目で「あるがまま」の姿を
ダブルチェックする必要があります。

**マイクロスコープだけで
判断できますか？**

質感(凹凸、クラック)や色を「目視」でダブルチェックすることで、
正しく観察・検査・評価できます。



デジタルマイクロスコープ(液晶モニター観察)のメリット

● 大きな画面で眼精疲労や肩こりなどのリスクが少ない ● 複数人で拡大像をすぐ共有できる
など特徴があり、ルーチン観察・検査に広く使われています。

一方で、モニター観察は環境により見え方が異なります。

① 液晶モニターの違い

● 色温度・輝度は調整により変わる ● メーカー、あるいは個体差がある ● 劣化・経時変化する

※顕微鏡写真をノートパソコンで見たら色合いが全然異なる!というのはいくつありますか?

② CMOSセンサー(電荷素子)の違い

● メーカーやデジタル処理による違い



デジタル観察の需要だから、
目視観察併用の「アイピース(接眼レンズ)付
デジタルマイクロスコープ」です!

アイピース付きデジタルマイクロスコープの特徴

● 観察手法が豊富

対象物に応じて最適な観察方法があります。マイクロスコープに合わせるのではなく、ニーズや対象物に合わせられます。

● 偏光 ● 透過偏光 ● 蛍光 ● 明視野 ● 暗視野 ● 微分干渉 ● 位相差

● 高い光学性能(ライカユニーク光学系)

FusionOptics(フュージョンオプティクス)

実体顕微鏡で左右光路を非対称にすることで、高解像度と被写界深度両立を初めて実現した独自技術。人間の目で観察するからこそ実現可能な世界。

HC光学系システム

Leica(ライカ)独自の最高品質観察像を創造するハーモニックコンポーネント光学システム。

顕微鏡全体で最高品質になるよう、ドイツマイスターのプライドをかけた匠の技で調整された製品だけが世に出ます。

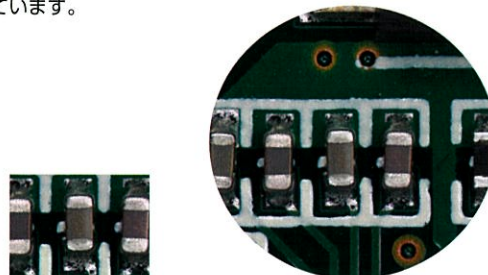
● 最新のカメラに適時変更可能

カメラだけ交換可能です。

Leica(ライカ)の世界最高光学系レンズはそのままで最新カメラを採用しやすい。デジタルマイクロスコープ本体全交換の必要がなくなります。

● 目視は観察できる視野範囲が広い

同じ倍率で観察した場合、デジタルと目視の視野範囲はかなり異なります。光学顕微鏡(対物レンズ5x, 接眼レンズ10x【視野数25】)の場合、目視で見たエリアは、モニターでデジタル観察したエリアと比べて、面積比で4.5倍も広がっています。



デジタルの視野イメージ

目視での視野イメージ

● 3Dで拡大観察しながら作業が可能(実体顕微鏡)

実体顕微鏡ベースのマイクロスコープでは、対象物が立体的に見えます。遠近感もわかるので、加工や組み立て、ピックアップ作業をされる方は実体顕微鏡が必要です。

テストデータ取得ご依頼、問い合わせは私まで、
お気軽にお声がけください。

デモ・お見積りなどお問合せください。
リモートデモも対応しております。

Email: lmc@leica-microsystems.co.jp
<https://xlab.leica-microsystems.com/inquiry>



メルマガ登録はこちらから
業務・作業の効率化に役立つ
顕微鏡知識をお届けしています。



ライカ マイクロシステムズ 株式会社

本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-9
Tel.03-6758-5656 Fax.03-5155-4333

※この製品のデザインおよび仕様は改良などのために予告なく変更する場合があります。